



えがお いっぱい

令和 7 年 1 月 6 日
富士市立富士南小学校
学校だより 1 月号

小中一貫教育目標 「やさしく いきる」
重点目標 「あいさつがいっぱい えがおもいっぱい」

11月・12月・1月の生活目標 「めあてをもってがんばろう」

謹賀新年

令和7年、2025年が始まりました。年末年始と、比較的穏やかな日々にも恵まれ、心穏やかに過ごせたように感じています。

2024年をあらわす漢字に「金」が選ばれました。パリオリンピック・パラリンピックでアスリートが活躍し、多くの「金」メダルを獲得したことや米大リーグ・ドジャースの大谷翔平選手が値千「金」の活躍をしたこと、佐渡「金」山が世界文化遺産に登録されたことなどがその理由のようです。京都・清水寺の森清範貫主様が、「金」を書き終えて、「日本の情勢や世界の世相を考えて、『和』という字が書けるような社会になってほしい。」という言葉が添えられました。「平和」「温和」「緩和」「調和」「柔和」いろいろな熟語が浮かんでいきます。「皆が心を開き、和やかに楽しむ」これは元号の「令和」に込められた願いです。そのような年になるとよいと思います。

皆様にとりましても、幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。また、本年も、変わらぬ御支援、御協力をお願いいたします。



<清水寺HPより>

◇冬休み明け集会のお話を紹介します◇

新しい年を迎え、「今年は〇〇に挑戦するぞ!」「〇〇をがんばるぞ!」と今年の抱負をもって、新しい気持ちで、新しい年を迎えた人もたくさんいることと思います。今の気持ちを大切にしてほしいです。

今年は、皆さんも知っているように干支は「へび」、「巳年(みどし)」になります。

へびと言えば、そのしなやかな動きやちょろちょろと舌を出す様子、そして、毒をもっているへびもいることから、人間や動物にとって危険なイメージをもっている人が多いと思います。

しかし、へびは、脱皮を繰り返して成長することから、「復活と再生」が連想され、強い生命力をもつ縁起のよい動物として昔から考えられています。また、全国各地にへびを祀った神社もあり、七福神の一員である「弁財天」は、へびの形をした神として祀られています。

巳年の人、皆さんの中で言うと、6年生の早生まれの子、5年生の多くの子になると思います。巳年の人の性格は、何日も獲物を待ち伏せするといったへびの習性から、「一度決めたことはやり抜く粘り強さがある」と言われています。それは、目標を決めて努力を惜しまず最後までやり抜いて成功につながる人ということになります。また、「感受性が強く、人の気持ちを考えて行動する」という一面も持ち合わせているそうです。

巳年は、「巳」を「実」として、「実年(みどし)」＝「実(み)を結ぶ年」と言われています。今年、富士南小のみなさんも、巳年にちなんで、「目標を決めて、最後までやり遂げる」「失敗や間違いを恐れず、とことんチャレンジする」「決めたことに、粘り強く取り組む」そんな一年にしてほしいと思います。

また、巳年の人がもっている「人の気持ちを考えて行動する」ことは、富士南小みんなが目標としている「やさしく いきる」ことにつながります。今年も、人にやさしく、友達にやさしく、物にやさしく、自然にやさしく生きている姿をたくさん見せてください。

そして、今の学年も、あと49日、学校に通えば終わりを迎えます。一人一人、富士南小のみんなが気持ちよく過ごして今の学年をきちんと終え、胸を張ってかっこよく、進学・進級できるようにしていきましょう。



1月は「いく」2月は「にげる」3月は「さる」とよく言われますが、卒業、進級に向けた大切な3か月です。職員一同、子供たちとともにがんばろうと思っています。よろしくお願いいたします。